

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 116

エントリー学校名：長崎県 対馬市立厳原北小学校

活動名：遠隔授業の効果的運用

解決すべき課題：

- (1) 遠隔授業は、有効な手段ではあるが、教員はその使用に慣れていない。
- (2) 遠隔交流先の選定やカリキュラムへの位置付けが、担任の個別の判断では難しい。
- (3) 遠隔先との連絡・調整や事前の資料の交換などに時間が必要であり、担任の負担が大きい。

目標・方針：

ビデオ会議ソフト skype を活用したオンライン授業を取り入れることで、調査活動や学びの深化に繋げる。

- (1) 学力向上の視点からオンライン授業を効果的にするためのカリキュラム・マネジメント。
- (2) オンライン授業による調査、取材活動や他校との交流を図るための支援体制を構築する。

活動内容：

- (1) 総合的な学習の時間において、多様な人材をオンラインで活用するカリキュラムづくりを進める。
- (2) 担任は主に学習支援から、校長は主に ICT 支援員として協力体制を組んでオンライン授業に臨む。
- (3) 台湾の彰化縣文徳國民小学校とのオンライン授業により、国際理解や学びの深化を図る。

活動の成果：

- ① 総合的な学習の時間のカリキュラム作成時に、担任及び管理職が知恵を出し合いながら、テーマの選定、探求的な学習展開構想、さらにオンラインによる調査・取材先や学力向上との関連について協議し合うなど、カリキュラム・マネジメントを 4 年間続けて行った。
- ② オンライン授業による講師からの取材などを通して、児童は、聞きたい内容を直接訪ねながら、課題の解決に結びつけることができた。(写真 1・2・3)
- ③ 担任はオンラインまでの相手との交渉や資料交換、打ち合わせなどに十分な時間が確保できないため、校長がその支援に当たったことでスムーズなオンライン授業の展開を図ることができた。(資料 1)
- ④ 台湾との交流は、2017 年から第 5 学年児童が年 1 回ペースで合計 4 回実施している。児童は、台湾の同年代の児童とオンラインで繋がったり、英語や中国語を通して、互いに自己紹介できたりした喜びを感じると共に、今後さらに外国語をしっかりと勉強したいという思いになった。(資料 2)
- ⑤ 相互地域に棲息するベンガルヤマネコ(台湾石虎、ツシヤママネコ)について調べたり、実践したりした学習の取組について、言葉を越えて共通点や差異に気付くことができた。(資料 3)
- ⑥ 担任は、遠隔授業を取り入れた学習が、効果的で面白いと思えるようになったと評価している。

アピールポイント(アイディアや工夫)：

- ① 遠隔授業のための支援、バックアップ体制を整えれば、離島からでも海外にまで学びの場を広げられた。
- ② 多忙な担任に対して授業づくり支援、ICT 支援を行ったことで、負担感少なく遠隔授業を実施できた。
- ③ 海外との交流学習は、児童の外国語への関心を高め、深い学びにつなげることができる。
- ④ 遠隔授業は、4 年間に 11 回の実践がなされた。(台湾・奄美大島・福岡・岡山・対馬島内)

(写真 1) 対馬市立厳原北小学校側 skype 使用



(写真 2) 台湾彰化縣文徳國民小学校

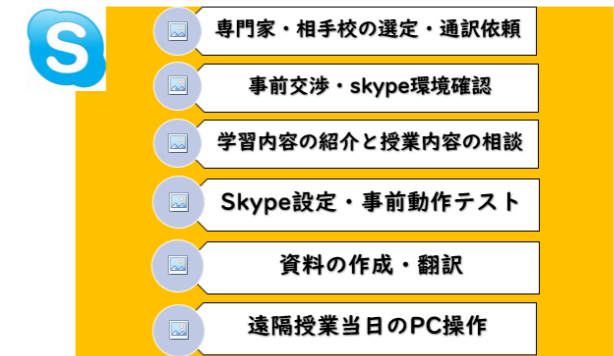


(写真 3) zoom による講師への取材場面



(資料 1) 校長の支援内容の概要

コーディネーターとしての校長の役割



(資料 3) 厳原北小児童の学習評価

2 今回の交流学習とそこにいるまでの総合学習で、学んだり思ったりしたことについて○をつけましょう。(ESDで育てる態度・能力の評価)

67%	1 違いがあることは素晴らしい <多様性>	89%	7 よりよいかけつけ方法を考えた <批判的に考える力>
89%	2 いろいろなことやものが関わり合っている <相互性>	78%	8 これから先のことを考えて計画した <未来予測・計画立案>
89%	3 大切に扱わなければならない <有限性>	78%	9 いろいろな見方や立場から考えた <多面的・総合的思考力>
56%	4 人はたがいに公平・公正であるべきだ <公平性>	100%	10 自分の考えを伝えたり他の人の意見を聞いたりした <コミュニケーション>
100%	5 いろいろなものがつながっており、互いに協力して問題を解決することが大切だ <連携性>	89%	11 自分以外の人のことも考えて行動した<他者と協力する態度>
89%	6 自分から進んで行動すべき責任がある <責任性>	100%	12 自分はいろいろなものに関わりやつながりがあることがわかった <つながりを尊重する態度>
		67%	13 これからも自分から進んで関わっていききたいと思った <進んで参加する態度>

(資料 2) 相互の児童の感想メモから一部抜粋

北小児童の感想から	台湾児童の感想から
次までに～を身に付けておきたい。 ○ 話が伝わるようにわかりやすく話をする。 ○ 中国語や台湾のことを調べておく。	次までに～を準備しておきたい。 ○ 日本語を学習しておきたい。 ○ 事前に日本の文化についてもっと調べておきたい。
○ 中国語で簡単な会話をしよう。	○ 台湾のことをもっと研究して紹介する。
○ ぜんぶ中国語で話したい。	○ 英語をもっと勉強する。
	○ 台湾の珍しい乳製品を、みなさんに飲んでもらうように送りたい。

(資料 3) 文徳國民小児童の学習評価

2 今回の交流学習とそこにいるまでの総合学習で、学んだり思ったりしたことについて○をつけましょう。(ESDで育てる態度・能力の評価) 台湾児童数15名評価

73%	1 違いがあることは素晴らしい <多様性>	80%	7 よりよいかけつけ方法を考えた <批判的に考える力>
100%	2 いろいろなことやものが関わり合っている <相互性>	80%	8 これから先のことを考えて計画した <未来予測・計画立案>
80%	3 大切に扱わなければならない <有限性>	100%	9 いろいろな見方や立場から考えた <多面的・総合的思考力>
100%	4 人はたがいに公平・公正であるべきだ <公平性>	80%	10 自分の考えを伝えたり他の人の意見を聞いたりした <コミュニケーション>
93%	5 いろいろなものがつながっており、互いに協力して問題を解決することが大切だ <連携性>	100%	11 自分以外の人のことも考えて行動した<他者と協力する態度>
80%	6 自分から進んで行動すべき責任がある <責任性>	93%	12 自分はいろいろなものに関わりやつながりがあることがわかった <つながりを尊重する態度>
		93%	13 これからも自分から進んで関わっていききたいと思った <進んで参加する態度>